

第1回 輪島中学校関係者評価委員会 質疑応答内容（令和5年8月29日木）

<学校教育方針について>

委員：先日陸上部からマリントウンで気持ちのよい挨拶をしてもらった。全校あげての指導が感じられた。継続してほしい。

校長：1学期は、6小学校と校舎を共有した。中学生は「お兄さん・お姉さん」になり、見本となるよう頑張っていた。いい効果があった。よい挨拶を維持していきたい。

委員：生徒数が減少している。部活が多いように思うが、持続可能か。

校長：今年度は、地域移行が進まない状況である。震災により外部の指導者の不足や、練習場所の確保に困難があるが、教職員は頑張っている。状況が整ったら、地域移行をすすめたい。

委員：地域の高校に進学する生徒が減少しているか。

校長：昨年度は減っている。震災の避難先を考慮した進学先になっている。中学校では2学期に避難を終えて帰ってくる生徒もいる。今後も、帰ってくる生徒がいることが見込まれる。

PTA 副会長：駐車場の整備はいつごろになるか。

校長：体育館は2学期から使用できる。駐車場やグラウンド・テニスコートは、大がかりな工事が必要になり、時間を要する。

PTA 会長：輪島中学校は頑張っている。先生方が楽しく仕事ができるようになれば、子供たちにも好影響がある。

<学力向上について>

PTA 会長：家庭学習は質の問題である。時間ではない。

委員：学力を向上するうえで、「理由・根拠」は重要である。引き続き取り組みをすすめてほしい。

<生徒指導について>

委員：不登校生徒の数が少ない。震災があったので、増えるのではないかと危惧していた。

生徒指導：どの学年も改善している。安心することなく、取り組みをすすめたい。

委員：先生方の頑張りを感じます。

〈令和6年度学校経営に対する中間評価から〉

委員：今年度から、評価を複数の指標から行っているとのことだが、良いことである。わかりやすくまとめられている。

委員：ホームページを見ていない保護者が多い。

校長：メッセージを配信する連絡方法があり、その都度、配信している。

主幹：ほとんどが登録者しており、登録していない場合も、学年で連絡に努めている。